

○近畿・中国・四国地方の地震活動

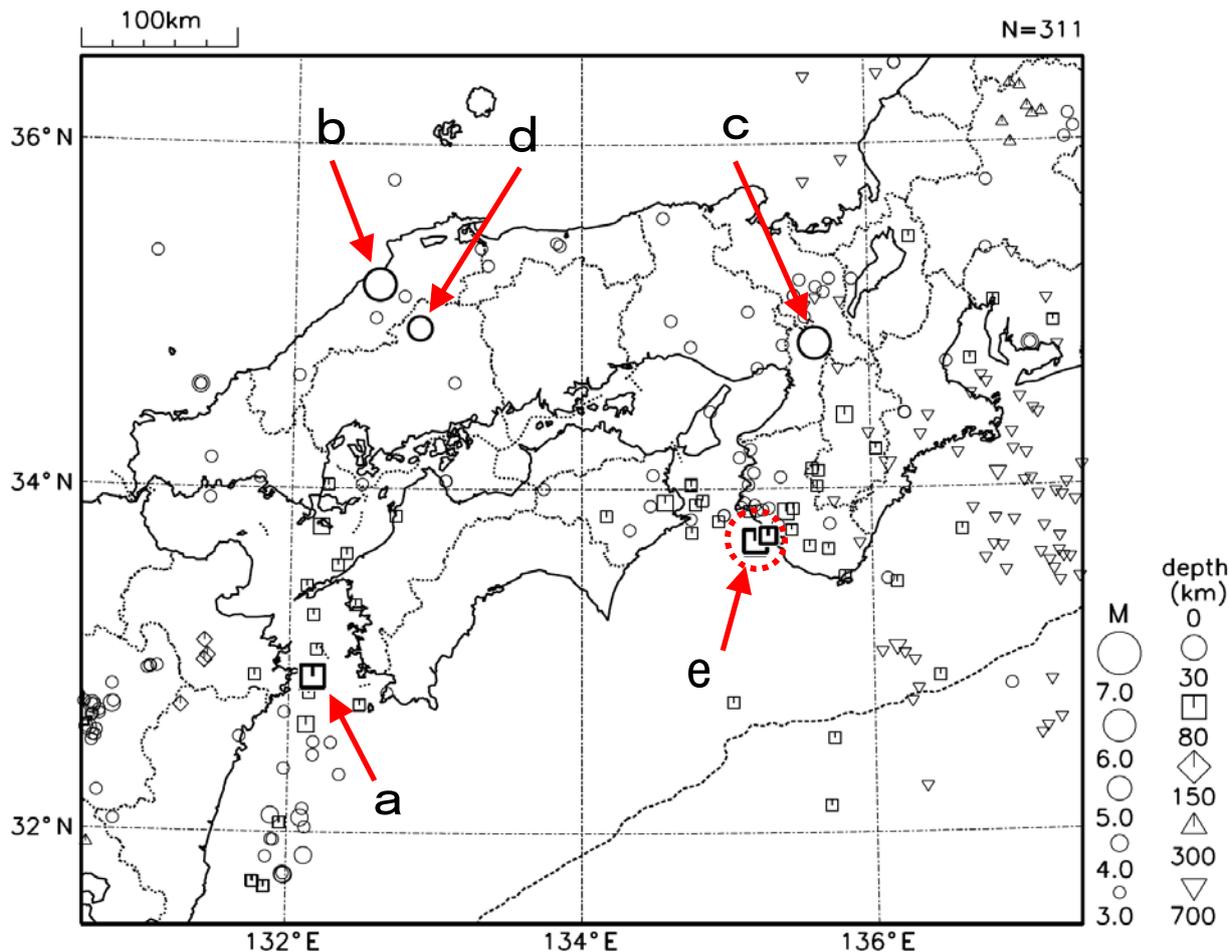


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図 (2018年1月1日~12月31日、M \geq 3.0)

[概況]

2018年に近畿・中国・四国地方で震度4以上を観測した地震は10回(2017年はなし)であった。2018年中の主な活動は次のとおりである。

2月19日03時31分に豊後水道の深さ40kmでM5.0の地震(図8中のa)が発生した。この地震の約4秒後に、ほぼ同じ場所でM5.0の地震が発生した。これらの地震により愛媛県、高知県、大分県で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3~1を観測した。これらの地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

4月9日01時32分に島根県西部の深さ12kmでM6.1の地震(図8中のb)が発生し、島根県大田市で震度5強を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度5弱~1を観測した。この地震は地殻内で発生した。この地震の震源付近では、同日、最大震度4を観測した地震が4回発生するなど地震活動が活発となった。

6月18日07時58分に大阪府北部の深さ13kmでM6.1の地震(図8中のc)が発生し、大阪府で震度6弱を観測したほか、近畿地方を中心に、関東地方から九州地方の一部にかけて震度5強~1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

この地震により、死者6人、住家全壊18棟などの被害が生じた(11月6日10時00分現在、総務省消防庁による)。この地震の震源付近では、最大震度4の地震が1回、最大震度3の地震が5回発生するなど地震活動が活発となった。

6月26日17時00分に広島県北部の深さ12kmでM5.0の地震(図8中のd)が発生し、広島県、島根県で震度4を観測したほか、中国・四国地方と兵庫県、福岡県、大分県で震度3~1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

11月2日16時53分に紀伊水道の深さ44kmでM5.4の地震(図8中のe)が発生し、和歌山県、徳島県で震度4を観測したほか、東海地方から四国地方にかけて震度3~1を観測した。また、11月5日08時19分にもこの地震の震源付近でM4.6の地震が発生し、和歌山県で最大震度3を観測した。これらの地震はフィリピン海プレート内部で発生した。